

鎌倉市交通計画検討委員会専門部会

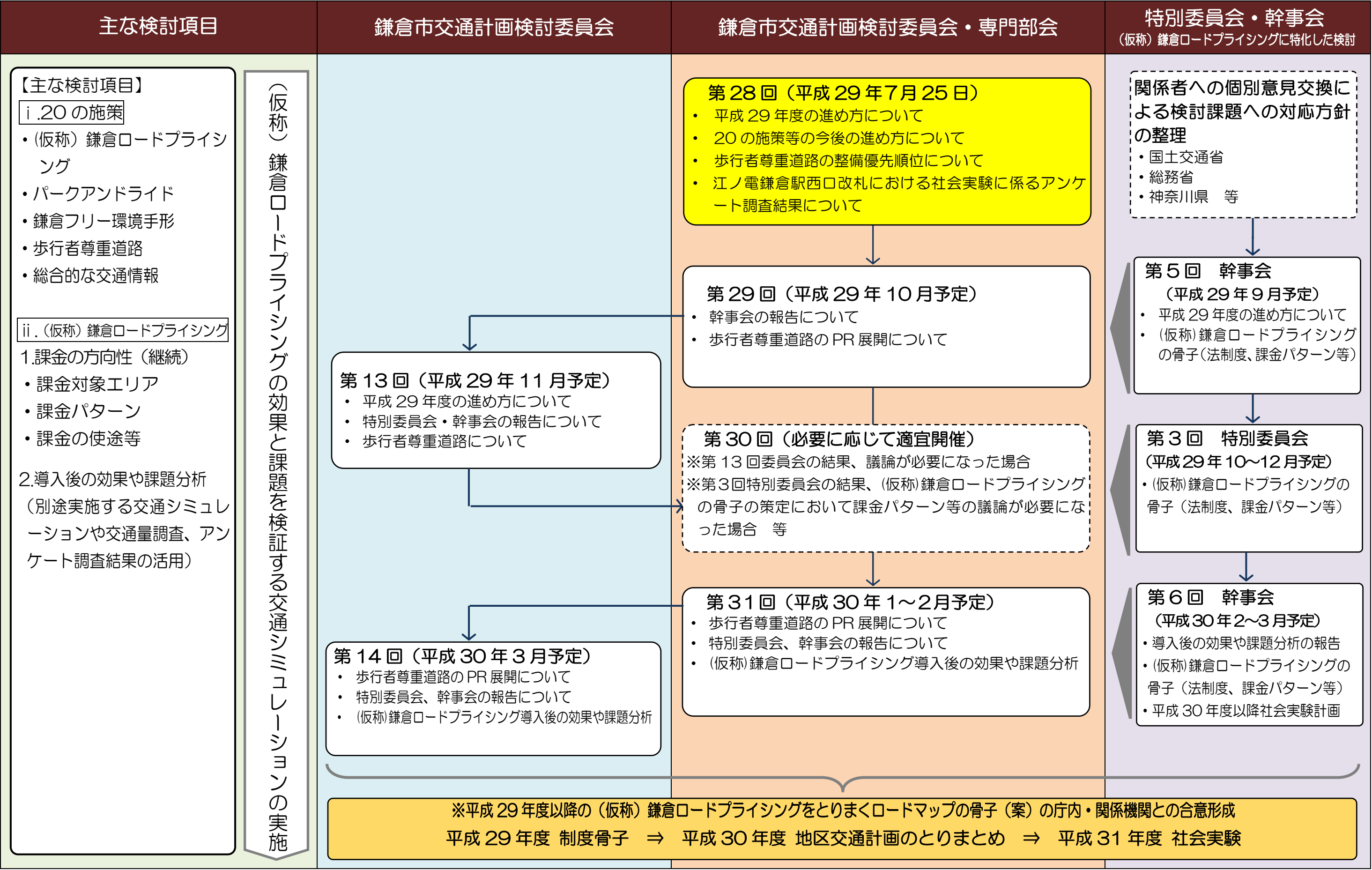
【第28回】

(目 次)

1. 平成 29 年度の検討委員会等の取り組みについて（案）	1
2. 20 の施策等の今後の進め方について	2
3. 歩行者尊重道路の整備優先順位について	4
1) 昨年度の第 12 回検討委員会（平成 29 年 3 月 15 日開催）で了承された事項	4
2) 本日の主な論点	6
4. 江ノ電鎌倉駅西口改札における社会実験に係るアンケート調査結果について	別紙

平成 29 年 7 月 25 日（火）

1. 平成 29 年度の検討委員会等の取り組みについて（案）



2. 20 の施策等の今後の進め方について

鎌倉地域の地区交通計画に係るロードマップ（1/2）

凡例



：平成 29 年度に重点的に取り組む事業

検討、調整・協議

策定、実施

* 点線は必要に応じ実施

項目	進捗状況	主な検討課題	スケジュール					
			平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度以降		
首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の整備 (藤沢IC～釜利谷JCT:横浜環状南線及び横浜湘南道路)	事業着手	—	事業中			完了（H32 年度予定）		
鎌倉地域の地区交通計画	平成 27 年 3 月 中間とりまとめの作成	—		策定（3 月） ▲（仮称）鎌倉ロードプライシングの実施方針を反映する方針		実施は全て 予定を含む		
20 の施策 等	（仮称）鎌倉ロードプライシング	・ 実施方針の骨子素案の作成 ・ 検討課題の抽出 ・ 平成 28 年 9 月に効果、課題 を把握するために交通実態 調査を実施	◆ 法制度 ◆ 課金の詳細 ◆ 課金システム	交通シミュレーション	実施計画の作成 （3 月）	実施に向けた準備	実施 特に関連づけ て実施が必要	
				関係機関との調整・協議	社会実験の準備	社会実験の実施 課金システムのオペレーション等の検証		
	パークアンドライド	・ 平成 24 年 11 月利用者アンケ ートの実施による利用促進に 向けた改善策の検討 ・ 整備目標の検討	◆ 駐車時間の延長 ◆ 夏期の運用 ◆ 新規駐車場の確保	既存施設の改善策の検討、朝比奈方面の駐車場確保に関する関係者との調整・協議→駐車場の設計			実施	
				深沢地区：大型バスの駐車場整備（予定）	パークアンドライド駐車場の確保			
	シャトルバス（パークアンドライ ド駐車場と観光拠点等の連絡）	—	◆ 在来の路線バスの 活用	パークアンドライドの駐車場整備に合わせて必要に応じて整備、交通事業者との調整・協議			実施	
	バス専用レーン	—	◆ 一般車への影響確 認、交差点処理 ◆ 実施時期	交通シミュレーション★	実施の場合：（交通管理者、道路管理者、交通事業者との調整・協議） バス専用レーンの設計			実施
				★（仮称）鎌倉ロードプライシング導入後のバスの所要時間の短縮効果を踏まえつつ、さらにバス専用レーン を導入した場合の効果と課題を予測				
鎌倉フリー環境手形	平成 28 年度利用促進に向け た案内ポスターの作成	◆ 協賛店や利用でき る交通機関の拡大 ◆ 電子化	交通事業者等との調整・協議					
			調整・協議が整い次第実施					
乗合タクシー	平成 24 年 10 月 20 日から 26 日までの 7 日間、住友常 盤自治会で試験運行	◆ 運行経費の確保 ◆ 運行形態や契約の 工夫	交通事業者や地元との調整・協議					
			調整・協議が整い次第実施					
歩行者尊重道路	平成 28 年度に再検討し新規 道路の位置づけ、整備計画を 作成	◆ 整備優先順位 ◆ 個別道路の実施計画	整備優先路線の選定・社会実験の実施					
			地元、交通管理者、道路管理者との調整・協議					
			交通シミュレーション★	調整・協議が整い次第実施				
			★（仮称）鎌倉ロードプライシング導入後の歩行者尊重道路の交通量の減少等を予測					

次頁に続く

鎌倉地域の地区交通計画に係るロードマップ（2/2）

凡例



：平成 29 年度に重点的に取り組む事業

検討、調整・協議

策定、実施

* 点線は必要に応じ実施

項目	進捗状況	主な検討課題	スケジュール			
			平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度以降
20 の施策等	ゾーンシステム 〔（仮称）鎌倉ロードプライシングの課金箇所の設置が困難な地区（由比ガ浜地区等）において、課金逃れ等を防ぐため、交通規制等を実施〕	◆（仮称）鎌倉ロードプライシングの課金箇所に合わせた具体的な計画の検討	（仮称）鎌倉ロードプライシングの課金箇所の検討	実施の場合：（地元、交通管理者、道路管理者との調整・協議）対象エリア、施策の検討		
	江ノ電踏切と連動した信号処理（下馬交差点）	◆ 信号の表示パターンを調整	交通シミュレーション★	実施の場合：（交通管理者、道路管理者、交通事業者との調整・協議）具体的な信号改定、踏切遮断時間変更等の検討		
	総合的な交通情報	鎌倉市ホームページに交通情報を掲載	◆ 公共交通への転換を促す効果的な情報提供 ◆ 観光情報等と一体となった情報提供	庁内機関との調整・協議		
	プロモーション	◆ 社会実験等の参加型イベントの継続開催 ◆ 鎌倉が紹介された旅番組の最後に公共交通の利用を呼びかける	過去の渋滞発生の情報提供	調整・協議が整い次第実施		
	民間駐車場を活用したパークアンドライド	◆ 一定期間の継続性の担保 ◆ 稼働率の向上 ◆ 発券機・システム費用等の費用分担	関係機関との調整・協議			
	新規循環バス「スーパ」	◆ 久木踏切の円滑な通行の確保 ◆ 費用対効果の検証 ◆ 路線バスの再編	交通シミュレーション★	返子市、神奈川県、交通管理者、交通事業者との調整・協議		
	地域公共交通の輸送力の増強	◆（仮称）鎌倉ロードプライシングに伴う転換交通に対応する輸送力の確保	★（仮称）鎌倉ロードプライシング導入後のバスの所要時間の短縮効果を予測	県道金沢鎌倉線の交通渋滞状況、関係機関との調整・協議を踏まえつつ実施を判断 運行に際しては久木踏切の円滑な相互通行化が必要であるが、関係者が多岐に渡ることから調整・協議には時間がかかることが予測される		
交通市民憲章（案）	・ 平成 28 年 11 月に検討委員会案を作成 ・ 交通計画ニュースを通じた市民意見の募集	—	交通事業者等との調整・協議	実施		
			素案の作成	市民意見の聴取	案の作成	制定
			（仮称）鎌倉ロードプライシングの検討及び進捗を踏まえ進める			

特に関連づけて実施が必要

3. 歩行者尊重道路の整備優先順位について

1) 昨年度の第 12 回検討委員会（平成 29 年 3 月 15 日開催）で了承された事項

- ①歩行者尊重道路の位置づけ
- ②計画から事業までの道すじ
- ③整備方針（案）

区分	名称	備考
平成8年の 鎌倉地域の 地区交 通計画に 関する提 言に位置 付けられ ている歩 行者尊重 道路	①今小路通り	
	②小町大路	請願書を受け鎌倉郵便局 前交差点から小町大路間 を結ぶ道路を追加
	③海浜公園～周辺観光 拠点間道路	都市計画道路として整備 されている海浜公園前交 差点以南の区間は歩道が 確保されていることから 歩行者尊重道路の位置づ けを解除
	④江ノ電長谷駅前道路	
追加した 歩行者尊 重道路	⑤稲村ヶ崎駅近隣～極 楽寺駅～極楽寺切通 し～坂ノ下に抜ける 道路	請願書を受けて追加
	⑥佐助一丁目信号～御成 中学校前～鎌倉女学院 前に抜ける道路	//
	⑦県道藤沢鎌倉線から 長谷大谷戸交差点に 抜ける道路	//
	⑧若宮大路横須賀線高 架下付近から御成小 学校前交差点に抜ける 道路	専門部会での意見を踏ま えて追加
	⑨二の鳥居前交差点から 鎌工会館ビルに抜 ける道路	



図. 歩行者尊重道路の位置づけ

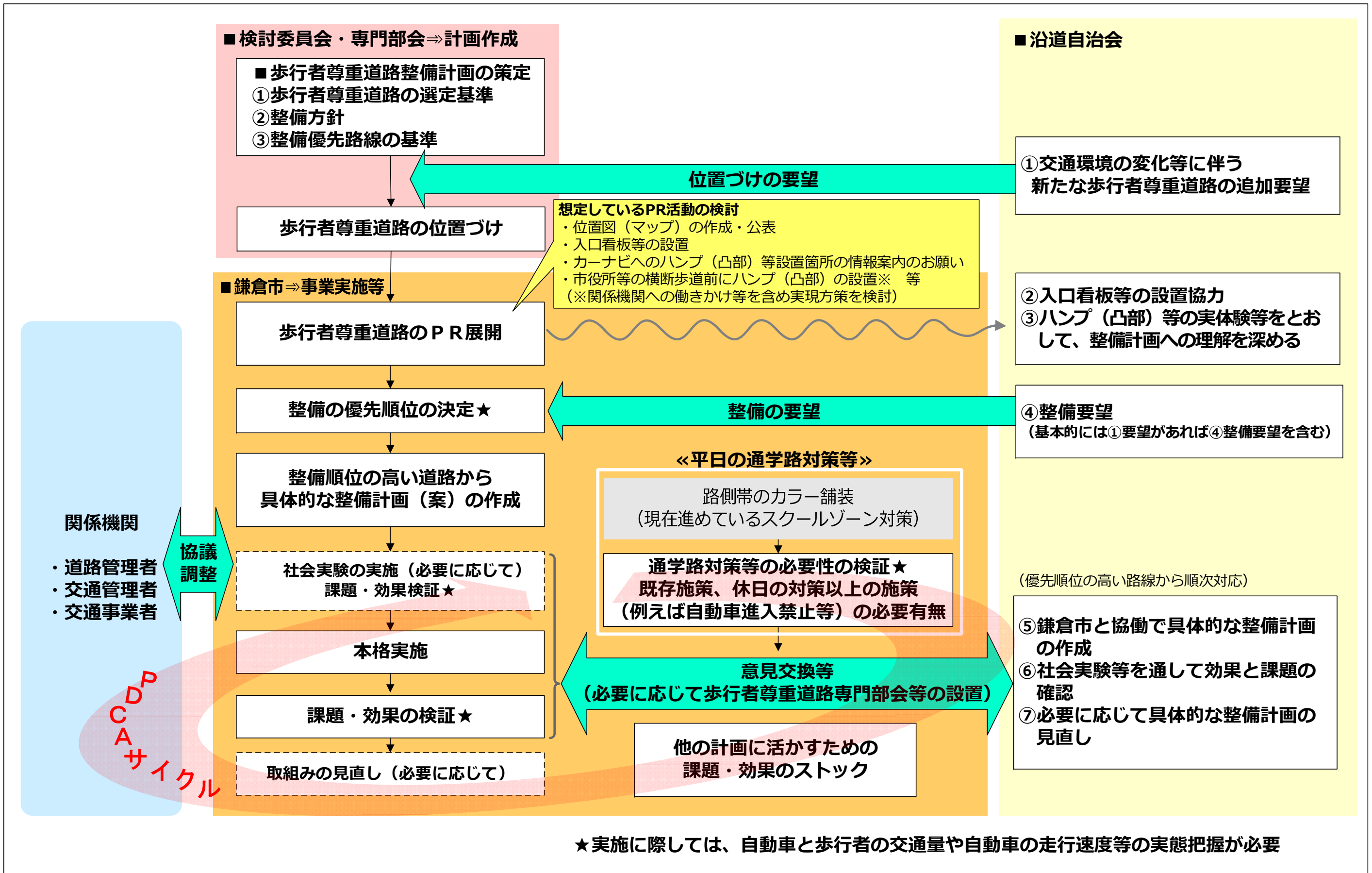


図. 計画から事業までの道すじ （第 12 回検討委員会資料 再掲）

2) 本日の主な論点

昨年度の第 27 回専門部会に引き続き、歩行者尊重道路の優先順位について議論します。

« 第 27 回専門部会に提示した歩行者尊重道路の整備優先順位の考え方（事務局案）について »

- ・ 歩行者尊重道路の整備は、舗装の打換えや改良事業等に合わせて実施することで、より事業の効率性や効果の向上が期待されます。関連事業に合わせた実施時期を検討します。また、沿道開発等により交通量の増加が予測される場合は、開発時期に合わせた実施を検討します。
- ・ 上記が無い場合は、整備優先路線の評価基準（案）に基づき、整備優先順位を検討します。
- ・ 整備優先路線の評価基準は、事故対策、事故防止、実施熟度の視点で評価項目を路線単位で検討し、評価方法は、各項目を点数化し、合計得点の高い順とします。

« 第 27 回専門部会での議論 »

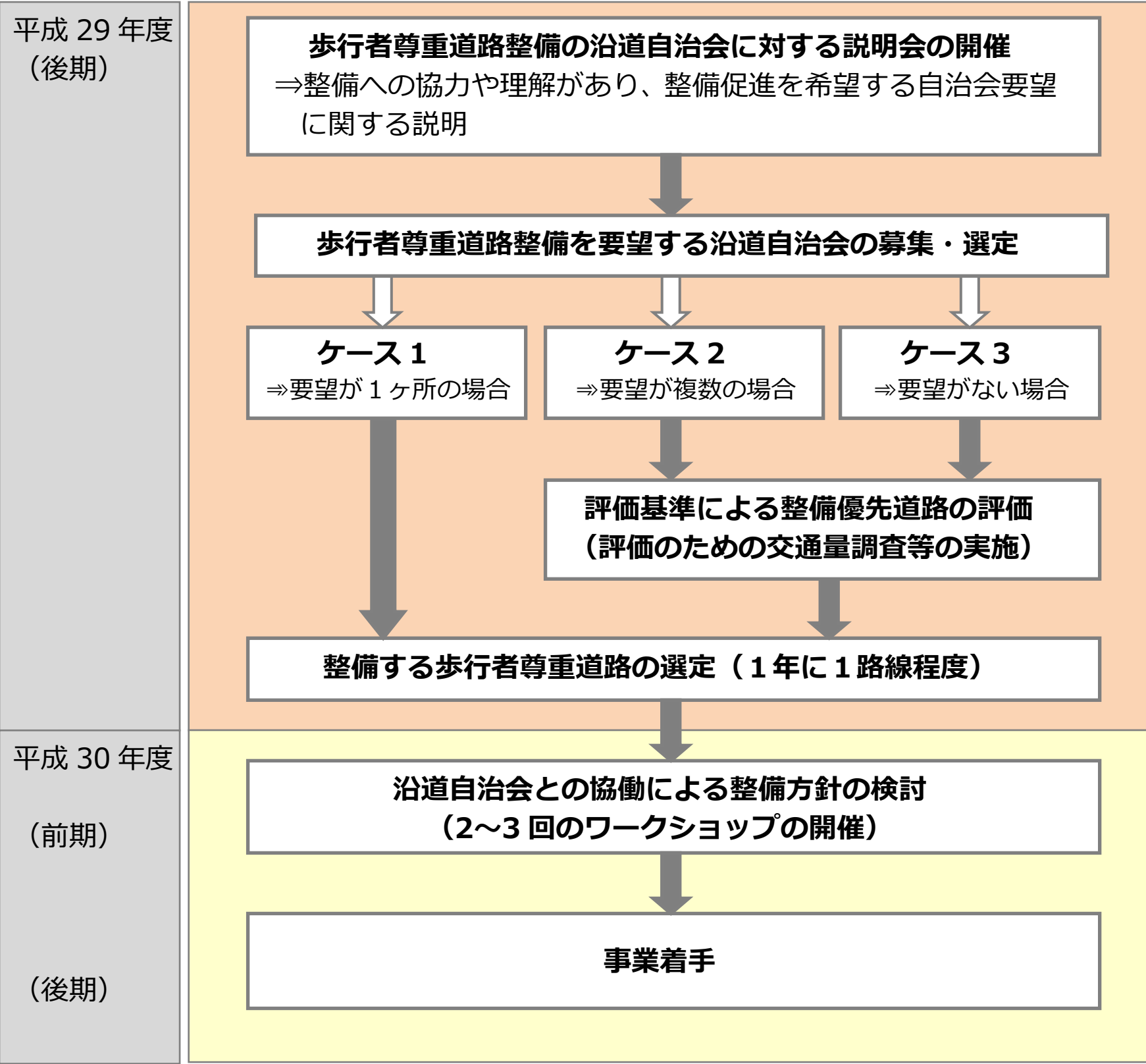
- ・ 整備優先路線の**評価基準**のみで優先順位を決めた方が分かりやすい。
- ・ **地元の要望**があるところから整備すれば良いのではないか。
- ・ 鎌倉地域の中で小町大路は自動車のスピードが出やすい。
- ・ 地区交通計画全体との整合を考えるべきである。

« 第 28 回専門部会の主な論点 »

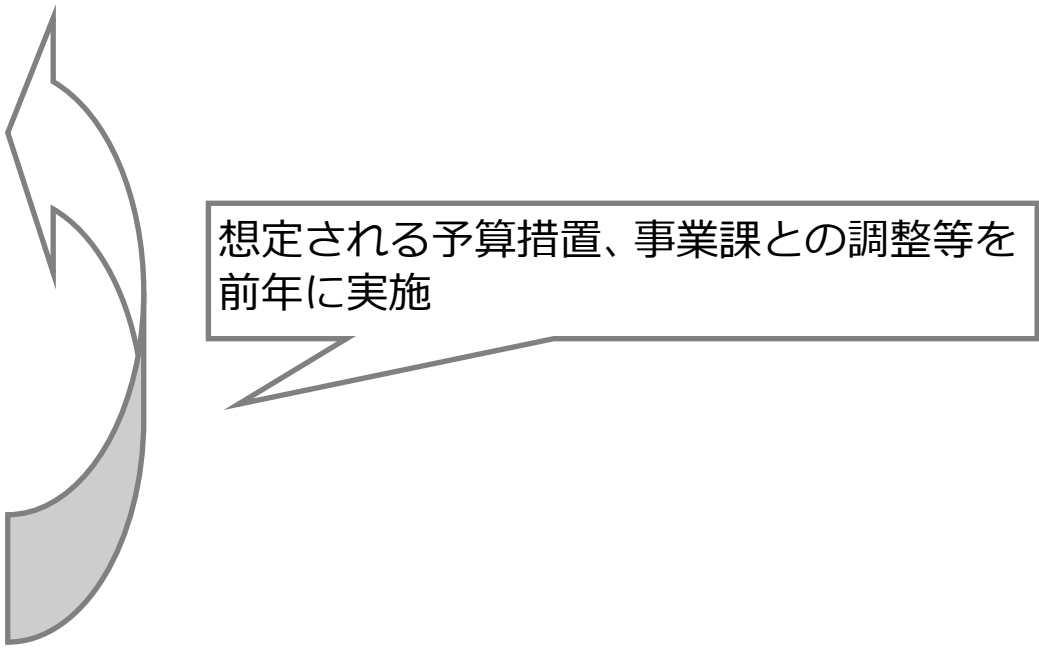
- 歩行者尊重道路は、1 年間に 1 路線程度の整備を目標に進めたいと考えています。これまでの議論を踏まえ事務局で考えた進め方（案）等について議論します。
 - ①整備路線を選定する進め方（案）について(次頁参照)
 - ②整備優先順位の評価基準や評価方法について

歩行者尊重道路の整備路線を選定する進め方（案）

≪ 歩行者尊重道路の沿道自治会の状況 ≫



NO	歩行者尊重道路	沿道自治会数	自治会名称
1	今小路通り	6	由比ガ浜自治会、塔の辻自治会、蔵屋敷自治会、御成末広自治会、扇ガ谷下町自治会、雪ノ下岩谷町内会
2	小町大路	5	横町自治会、小町上町明光自治会、小町二丁目東自治会、小町元町町内会、大町八雲自治会
3	海浜公園～周辺観光拠点間道路	3	若宮自治会、由比ガ浜西自治会、長谷自治会
4	江ノ電長谷駅前道路	1	長谷自治会
5	稲村ヶ崎駅近隣～極楽寺駅～極楽寺切通し～坂ノ下に抜ける道路	4	稲村ガ崎自治会、極楽寺自治会、坂ノ下自治会、長谷自治会
6	佐助一丁目信号～御成中学校前～鎌倉女学院前に抜ける道路	3	佐助自治会、塔の辻自治会、由比ガ浜自治会
7	県道藤沢鎌倉線から長谷大谷戸交差点に抜ける道路	1	長谷自治会
8	若宮大路横須賀線高架下付近から御成小学校前交差点に抜ける道路	2	蔵屋敷自治会、御成町末広自治会
9	二の鳥居前交差点から鎌工会館ビルに抜ける道路	2	扇ガ谷下町自治会、八幡宮前振興会



整備優先路線の評価基準(案)

- ・ 既存データによる評価ができない項目については、状況の深刻さを明らかにする最低限の調査を実施します。
- ・ 評価基準の中で、点数が「1」と「2」があるものは、深刻さにより差をつけました。

視点		評価項目	評価方法	具体的な評価方法（得点方法）	
				評価基準	点数
事故対策	これ以上の交通事故が起きないように対策を講じる	①歩行者に係る交通事故の発生件数	警察からの提供データ	歩行者尊重道路の1 km当りの平均交通事故件数よりも多い	2
事故防止	危険を感じる道路やスピードが出やすい道路に対し、交通事故を未然に防ぐ	②ヒヤリハットの回数	プローブデータの収集	全歩行者尊重道路の平均回数よりも多い又は比較する道路よりも多い	2
		③歩道の整備状況	現地調査 ＊収集済み	a.両側歩道なし (全区間に対し8割以上)	2
				b.片側歩道なし (全区間に対し8割以上)	1
		④自動車の平均走行速度	ピーク時2～3時間の交通量調査の実施	30 km/h 以上	2
				20 km/h 以上	1
		⑤歩行者交通量	〃	全歩行者尊重道路の平均交通量よりも多い又は比較する道路よりも多い	2
		⑥自動車交通量 ※車道幅員と歩道設置の有無が変わる道路種級で評価	〃	4,000 台以上(4種2級相当)	2
				500 台以上(4種3級相当)	1
上位計画との整合	まちづくり計画に位置付けがあるか	⑦鎌倉市都市マスタープランの幹線道路網体系	確認済み	鎌倉市都市マスタープランの幹線道路網体系図(平成27年9月)の「地域間を結ぶ主要道路」、「生活道路等に位置付けられている道路」	2
合計					